

中期計画及び平成30年度事業計画

1. 中期経営計画（2018-2020年度）

及び2018年度（平成30年度）事業計画の概要

（1） 中期経営計画案の全体像

本計画案は、2017年1月に策定した「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」にある5つの基本方針に基づき、2018年度から3カ年にわたって取り組む事業のねらいや方向性ととともに、その実現を支える経営強化目標、収支計画等によって構成されています。加えて初年度（2018年度）の具体的な事業計画について、概要を示しました。

定款 第3条 目的

この法人は、文化芸術の振興、郷土の歴史の継承及び生涯学習の支援に関する事業を行い、もって魅力ある市民の文化創造と豊かな市民生活の実現に寄与することを目的とする。

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」

5つの基本方針

<方針その1>

資料の収集と活用

ミュージアム施設の管理・運営／常設展・企画展等の開催

<方針その2>

市民の文化活動への支援

活動者への支援・助成・協力／鑑賞機会の提供

<方針その3>

さまざまな人材の育成

講座・ワークショップ・市民協働型事業の実施／
ボランティア組織の運営

<方針その4>

[楽都][劇都]の成長促進

音楽・舞台芸術の振興と創造・発信型事業の推進／
劇場・音楽堂の活性化

<方針その5>

地域文化資源の活用

文化による地域共生社会の振興／新たな地域文化の創造

経営の強化

●人材の確保・育成

●経営基盤の強化

(2) 「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」基本方針と計画の概要

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」より

<方針その1> 資料の収集と活用 *その2にも該当

歴史や伝統、多様な文化芸術に関する資料収集・調査研究とその成果の活用により、市民の暮らしに息づく文化の保存・伝承および総合的な文化の振興を図り、まちの魅力向上に活かします。

- ① 資料収集や調査研究を通じて、文化を育み活用する基盤の整備に寄与し、市民文化の振興に努めます。
- ② 調査研究等で得られた成果を活用し、さまざまな手法でこれを市民に提供していくことで、市民が学びを楽しむきっかけをつくるとともに、「ミュージアム都市」として、継続的な学びを支援します。
- ③ 長い年月の中で、災害や技術の進歩、ライフスタイルの転換などにより、変化し、喪失してしまう地域の記録や記憶を保存し、大切な文化資源としての活用を図ります。

今後3ヵ年の方向性

2019年度の「歴史民俗資料館開館40周年」「仙台文学館開館20周年」を節目と捉え、両施設の周年事業を次の方針で計画・実施・検証するなど、今後の各ミュージアム運営に資する新しい業務に着手していきます。

- ・蓄積した資料や成果を国内外に向けて積極的に情報発信します。
- ・施設の存在をさらに広く知ってもらうために、多彩な事業を実施し、新規の来場者を開拓します。
- ・現在の施設運営課題を絞り込み、その解決のための新たな方策や事業を試行しながら、その効果を検証します。

2018年度事業の概要

(1) ミュージアム施設の管理運営・資料収集・調査研究

- ア 仙台市歴史民俗資料館 管理運営
- イ 仙台市富沢遺跡保存館 管理運営
- ウ 仙台市縄文の森広場 管理運営
- エ 仙台文学館 管理運営

(2) 常設展・企画展等の開催

- ア 仙台市歴史民俗資料館 企画展等
- イ 仙台市富沢遺跡保存館 企画展等
- ウ 仙台市縄文の森広場 企画展等
- エ 仙台文学館 企画展等

主な展示事業

- ・仙台市歴史民俗資料館「コメどころ仙台～コメの産地と消費の歴史」
- ・地底の森ミュージアム「米づくりの考古学」
- ・仙台市縄文の森広場「仙山交流」
- ・仙台文学館「田沼武能展 時代を刻んだ貌」「連載40周年記念 ガラスの仮面展」

仙台文学館開館20周年記念事業 ※次年度も実施予定

- ・こまつ座公演「イーハトーボの劇列車」 作：井上ひさし、演出：長塚圭史、出演：松田龍平ほか
会場：仙台市青年文化センター

<方針その2> 市民の文化活動への支援

市民が行う自主的な学びや活動の場を提供し、さまざまな文化活動を支援することで、年代やライフステージに関わらず誰もが心豊かな市民生活を送り、地域が活性化することをめざします。

- ① 市民や市民団体が行う自主的な学びや活動を支援するとともに、市民が多様な文化に触れる機会を提供し、心豊かな暮らしと地域の持続的な発展に寄与することをめざします。
- ② 多様な文化に関わる情報に誰もがアクセスできるよう、さまざまな手法による発信に努めます。
- ③ 震災からの復興や地域づくりにおいて文化が果たしてきた役割を検証し、次代につないでいきます。
- ④ 多様な年代・ライフステージに応じた学びと活動の機会を確保し、文化への理解と支援の拡大をめざします。
- ⑤ 施設の利用者がいつも安全に安心して利用できる管理運営を行うとともに、さらなる魅力の向上を図ります。

今後3ヵ年の方向性

当財団が果たしてきた市民活動支援の役割を維持継続していくとともに、既存の制度や仕組みの段階的な充実を図ります。加えて鑑賞者向け事業やサービスを、時代の変化を意識して再編成します。

- ・2020年度のせんだいメディアテークの開館20周年を節目と捉え、次の10年の方向性の検討をすすめ、周年事業を計画・実施します。
- ・鑑賞者に向けた各種広報及び「市民文化事業団友の会」、制度改正後10年余りが経過する「支援・助成・協力事業」の仕組み等を改めて検証し、それぞれ有効度の向上に取り組みます。
- ・ホール系施設の劇場としての機能充実を目指し、より良い運営のための外部評価の充実や、文化庁等外部財源のさらなる獲得に努めながら、事業の充実を図ります。

2018年度事業の概要

(1) 活動者への支援・助成・協力

- ア 仙台市青年文化センター管理運営
- イ 仙台市泉文化創造センター管理運営
- ウ センдай演劇工房10-BOX・能-BOX管理運営*その4にも該当
- エ センдайメディアテーク管理運営・生涯学習支援事業*その3・その5にも該当
- オ 支援・助成・協力事業*その3・その5にも該当

(2) 鑑賞機会の提供

- ア 仙台文学館普及啓発補助事業
- イ センдайメディアテーク経常補助事業*その5にも該当
- ウ 事業課自主事業／鑑賞事業*その4にも該当
- エ 共催事業／文楽・青葉能等*その4にも該当
- オ 仙台市青年文化センター活性化事業<子どもの夢ひろば”ボレロ”等>
(自主財源・協賛金・入場料等)*その4にも該当
- カ 仙台市泉文化創造センター活性化事業<宝塚・寄席・ロビーコンサート等>*その4にも該当
- キ 仙台市歴史民俗資料館活性化事業<れきみん秋祭り等>
- ク 仙台市富沢遺跡保存館活性化事業<冬キラ・古代米・狩人登場等>
- ケ 仙台市縄文の森広場活性化事業<縄文まつり復元プロジェクト等>
- コ 仙台文学館活性化事業<ライブ文学館等>
- サ センдайメディアテーク活性化事業<ホスピタリティ向上事業等>
- シ 文化情報広報事業
- ス 「市民文化事業団友の会」事業

主な鑑賞事業

- ・熊谷和徳 & the band Special Guest 山下洋輔 公演&ワークショップ
- ・小池博史ブリッジプロジェクト「新・伝統舞踊劇 幻祭前夜 マハーバーラタより」公演
&ワークショップ
地域創造助成5館連携事業
- ・弧の会 日本舞踊公演&ワークショップ
- ・ライブ文学館「恩田陸『蜜蜂と遠雷』を聴く」 以上の会場：仙台市青年文化センター
- ・宝塚歌劇公演
- ・演劇公演「ヘンリー5世」
- ・ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー 公演&レッスン
- ・新春いずみ寄席 以上の会場：仙台市泉文化創造センター
- ・仙台オペラ協会公演 会場：宮城県民会館
- ・仙台青葉能／文楽公演 会場：仙台電力ホール
- ・れきみん秋祭り 会場：仙台市榴岡公園／仙台市歴史民俗資料館
- ・縄文まつり復元と創造プロジェクト 会場：仙台市縄文の森広場
- ・ミュージアムシアター「狩人登場！」 会場：地底の森ミュージアム
- ・「ヒスロム」展 会場：せんだいメディアテーク

事業リニューアルの検討着手

- ・支援・助成・協力事業 課題：アーカイブ分野等、新たな対象事業の取り込み
- ・広報事業／市民文化事業団友の会 課題：サービスの多様化・IT化／コストダウン
- ・文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 課題：事業内容及び外部評価制度の充実
- ・せんだいメディアテーク開館20周年のための調査・準備

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」より

<方針その3> さまざまな人材の育成

多様な文化活動に関わる人材のすそ野を広げ、子どもたちをはじめとする次世代や新たな担い手の育成に努め、文化に関わる市民力の向上をめざします。

- ① 子どもたちが優れた文化や地域の歴史に触れる機会を増やし、次代の文化の担い手としての成長を応援します。
- ② 各種ボランティアやサポーターの活躍機会の拡大に努め、互いに交流・連携しながらスキルアップをめざす取り組みを応援します。
- ③ 多様な文化の担い手となる人材を育成し、新たな文化の創造や地域文化の発展・継承をめざします。
- ④ 地域に受け継がれてきた伝統や民俗芸能の継承を支援し、鑑賞の機会を増やして理解を広げ、地域への誇りや愛着を深めていきます。

今後3ヵ年の方向性

市民の多様な興味関心に応じて、芸術文化に触れる機会を広く提供する講座・イベントから、表現活動のスキルアップを目的としたワークショップまで、豊かな文化活動の担い手育成のために多層的なプログラムを実施します。

- ・子どもから大人まで、文化を体験できる多様な事業を行います。
- ・地元のアーティスト、学芸員、指導者など向けに、受講者とのコミュニケーション方法や派遣先の地域や学校をつなぐコーディネート手法など、ワークショップを支える人材の育成を図ります。
- ・文化施設や大規模な文化事業と一緒に運営するボランティアの方々とは、ノウハウの情報共有を行っていきます。

2018年度事業の概要

(1) 講座・ワークショップの実施

- ア 事業課人材育成事業
- イ せんだい演劇工房10-BOX舞台芸術人材育成事業*その4にも該当
- ウ 能-BOX 古典芸能人材育成事業*その4にも該当
- エ 藝大早期育成プロジェクト*その4にも該当
- オ 仙台文学館 学芸員出前講座・仙台文学館ゼミナール等各種文学講座
- カ 歴史民俗資料館 子ども講座・たんけん資料館等各種講座、ワークショップ
- キ 仙台市富沢遺跡保存館 考古学講座・楽しい地底の森教室等各種講座・市民文化財研究員
- ク 仙台市縄文の森広場 発掘調査体験教室・夏休み子ども考古学講座等各種講座
- ケ 文化庁芸術家派遣事業

(2) ボランティア組織の運営

- ア 仙台国際音楽コンクール・仙台クラシックフェスティバル／ボランティア事業*その4にも該当
- イ 仙台文学館友の会支援事業
- ウ 仙台市歴史民俗資料館サポーター養成事業
- エ 仙台市富沢遺跡保存館ボランティア事業
- オ 仙台市縄文の森広場ボランティア事業

主な講座・ワークショップ

- ・ミュージカルプロジェクト
出演者に加えて演出・指導を学びたい人を公募し、2019年の上演に向け制作を行う。
- ・ダンスプロジェクト
ダンスを通じた人材発掘・育成のプログラム。
- ・熊谷和徳 presents Tap the Future
仙台出身の世界的タップダンサー・熊谷和徳によるレッスンと公演。アウトリーチも展開。
- ・東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト
- ・まなぶ・からだ
身体表現に着目し、演劇に関する表現を幅広く体験し、多角的に学ぶ講座。
- ・舞台スタッフ☆ラボ
- ・能-BOX 古典芸能ワークショップ
- ・文学館で言葉を楽しもう
小中学校の授業とタイアップし、文学への興味や感性、表現力を養うプログラム。
- ・文化庁芸術家派遣事業
「仙台市文化芸術による子供の育成事業実行委員会」が文化庁から業務を受託し、学校や保育所等で子どもたちに文化活動や鑑賞機会を提供する事業。会場：市内学校・保育所等

主なボランティア事業

- ・仙台国際音楽コンクール／仙台クラシックフェスティバル ボランティア
会場運営などのボランティアの募集・運営。登録282名。
- ・仙台市縄文の森広場ボランティア
各種体験活動の補助や展示解説を担うボランティアの募集・育成。登録72名。
- ・地底の森ミュージアムボランティア
展示解説や各種イベントの補助を担うボランティアの募集・育成。登録72名。

<方針その4>「楽都」「劇都」の成長促進 *その2・その3にも該当

「楽都」や「劇都」として、市民が参加し、育んできた文化をさらに成長させ、仙台の魅力として国内外に発信していきます。

- ① まちに音楽があふれ、誰もが気軽に楽しむことができる機会を拡充し、音楽を「する」「聴く」「支える」文化を育て、仙台の文化としての発信に努めます。
- ② 子どもたちをはじめとする若い才能を育み、世界に羽ばたくチャンスをつくり、「楽都」の基盤を支えます。
- ③ 舞台のつくり手と支え手の育成を支援するとともに、活躍の場を広げ「劇都」にふさわしい舞台芸術の振興に努めます。
- ④ 多様な市民が集い、感動を共有する場である劇場等を地域における文化拠点として運営し、文化の継承・創造・発信の場として活用していきます。

今後3ヵ年の方向性

- ・3年ごとに開催する「仙台国際音楽コンクール」は、2018年度に本格的な準備を行い、2019年度に第7回開催（5月～6月）、2020年度の第8回開催の概要広報まで、一連の業務を想定し、制作を進めるとともに、継続的に地域の音楽文化振興に寄与する関連事業を実施します。
- ・12回の継続を経て市民に深く浸透した「仙台クラシックフェスティバル」を、新規性も加味しながら引き続き開催し、音楽ファンのさらなる拡大によって「楽都仙台」の充実を図ります。
- ・“劇場法”の制定で重要度が増す「舞台芸術振興」のための諸事業を、せんだい演劇工房10-BOXとホール系施設の役割を改めて相互に明確化しながら再整備し、個々の事業の目的を明確にし、有効性を高めます。
- ・仙台市と検討を進めている今後の舞台芸術振興のヴィジョンづくりを継続し、事業体系全体の構造を強化することから、「劇都仙台」事業の充実を図ります。

2018年度事業の概要

（1）音楽の振興と創造・発信型事業の推進

- ア 仙台国際音楽コンクール運営事業
- イ 仙台クラシックフェスティバル
- ウ 仙台ジュニアオーケストラ運営事業*その3にも該当
- エ もりのみやこのふれあいコンサート
- オ 市制施行記念コンサート
- カ 地下鉄駅コンサート

（2）舞台芸術の振興と創造・発信型事業の推進

- ア せんだい演劇工房10-BOX 現代演劇鑑賞事業
- イ 市民能楽講座
- ウ 能-BOX 施設活性化事業

（3）劇場・音楽堂の活性化

- ア 文化庁劇場・音楽堂等機能強化推進事業

主な楽都仙台事業

- ・第7回仙台国際音楽コンクール準備
開催前年度として、出場者応募受付（2018年6/14～11/14）と予備審査をおこなうとともに、地域の音楽文化振興事業を実施する。
- ・仙台クラシックフェスティバル2018
13回目となる今回は、仙台国際音楽コンクール入賞者や仙台ジュニアオーケストラ出身で国内音楽コンクール入賞者の出演を多数設け、仙台の音楽的財産や次年度開催のコンクールの魅力PRも図る。
- ・仙台ジュニアオーケストラ運営事業
公募・選考による公立のジュニアオーケストラ。音楽監督：平川範幸（上野学園大学非常勤助教）講師；仙台フィルハーモニー管弦楽団団員 団員定員122名
- ・もりのみやこのふれあいコンサート
障害のある方対象の仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサート。会場：仙台市泉文化創造センター

主な劇都仙台事業

- ・SENDAI OROSHIMACHI Art Marche 2018
市民協働による卸町での舞台芸術フェスティバルを前年に引き続き開催。担い手の育成も目指す。
- ・杜の都の演劇祭2018
11年目となる今回は、今後の継続を見据え、一定のリニューアルや新たな要素を加味し実施する。
- ・仙台短編戯曲賞事業
演劇公演の制作者・プロデューサーが選ぶ戯曲賞。第6回の審査及び最終候補作約10作品の冊子化に加え、第7回の全国公募を行う。

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」より

<方針その5> 地域文化資源の活用

多様な分野や担い手との連携と交流を進め、地域や文化資源の新たな魅力発掘に努めるとともに、文化の力を地域の活性化や課題の解決に活かします。

- ① 自然や歴史、伝統など、地域に息づき、育まれてきた文化の土壌を発展させ、その魅力を高める活動を支援します。
- ② さまざまな文化活動を介して他者への理解を促進し、多様な価値観と生き方を認め合う地域社会をめざします。
- ③ 地域の課題や魅力の発見・発掘に努め、多様な担い手と連携して新たな地域文化を育む取り組みを支援します。

今後3ヵ年の方向性

地域共生社会に対応した文化活動のあり方を模索し、地域や社会課題に対応した文化事業を実践していきます。

- ・施設来場者、文化芸術団体、施設近隣の方々など、さまざまな立場の方々と文化施設や文化事業のあり方について対話を行い、地域における幅広いニーズや意見を把握します。
- ・それらの知見をもとに、自然・環境、子育て、障害のある方の情報アクセス、震災の記憶・記録を残し伝え学ぶ環境などに対応した事業を模索し、各文化施設の特徴や資源を活かして実施していきます。
- ・特に、地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災については、2021年3月には10年目を迎えることから、震災から11年目以降の次世代に向けて、文化活動を通じた震災の経験や記憶の継承について、持続可能なあり方を模索していきます。
- ・仙台市文化プログラムやせんだい・アート・ノード・プロジェクトでは、社会の課題を見据え、地域の資源や人材を生かした文化事業を行います。

2018年度事業の概要

(1) 地域共生社会を見据えた事業

- ア 利用者や地域との運営懇談会
- イ 森を育てる2018

(2) 震災・復興に文化を通して向き合う事業

- ア せんだい3.11メモリアル交流館運営
- イ せんだい3.11メモリアル交流館各種事業

(3) 地域・社会の課題を見据えた文化事業 *その3にも該当

- ア 「仙台市文化プログラム」公募・共催事業

(4) 新たな地域文化創造にむけた事業 *その2にも該当

- ア せんだい・アート・ノード・プロジェクト

せんだい3.11メモリアル交流館の主な事業

- ・企画展（年間3回程度）
東日本大震災の概要や実際の記録等で構成された常設展コーナーと併せ、震災メモリアルや地域再生のための心の復興を見据えた多様なテーマによる展示を企画。
- ・ワークショップ・講座等
震災復興メモリアルや地域の魅力発信に係るワークショップや講座等の開催。交流の場を創出する事業、ネットワークを構築するイベントなども実施。
- ・情報収集・発信事業

公募による市民協働事業

- ・仙台市オリンピック・パラリンピック文化プログラム
「地域資源発掘（2年目）」「文化芸術による震災復興」「文化芸術による障害者支援」の3テーマで実施。

せんだい・アート・ノード・プロジェクト（3年目）の主な事業

- ・川俣正「仙台インプログレス」
沿岸部岡田地区貞山堀に現代美術家設計の橋を架ける、貞山運河に沿って長期展開されるプロジェクト。今年度は船を造る計画。
- ・藤浩志「ワケあり雑がみ部」
今年度は仙台七夕まつりとの連動を目指し開催。
- ・東北リサーチとアートセンター「TRAC」の運営
仙台・東北の資源や歴史を調査、表現、交流する拠点の運営を継続。
- ・市民協働により街なかで展開されるアートや文化の今をきくイベント「TALK」

(3) 経営の強化に向けた取り組み

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」より

●人材の確保・育成

(1) 職員の専門性と能力の開発

- ア 他都市や他機関を含む研修機会の充実
- イ 専門性の高い人材の確保
- ウ 中長期的な育成の見地に立った異動・交流のしくみの検討

(2) 市民協働の推進

- ア 市民協働のさまざまな場面での推進
- イ ボランティアやサポーターの活動機会の拡大・ネットワーク構築

今後3ヵ年の方向性

- ・仙台市及び他機関の研修機会を積極的に活用します。
- ・独自に企画する研修の分野や機会を拡大し、内容の充実を図ります。
- ・職員個々の適性をもとに、キャリアアップやOJTの観点を重視しながら、育成面でも有効な人事を行い、組織力の維持向上を図ります。
- ・今後増加する職員の定年退職に備え、中長期の再雇用計画について検討を進めます。
- ・各事業の実施を通して、外部のさまざまな方々と協働することから、仙台の文化芸術振興に欠かせない担い手の育成を進めます。

2018年度の取り組み

- (1) 独自企画研修の強化・回数増
- (2) 固有職員再雇用計画の作成
- (3) 助成事業等、市民活動支援事業の充実にに向けた調査・検討
- (4) 継続中の市民協働型事業の再編に向けた検討、新たな協働事業の試行

「市民文化事業団の事業運営に関する基本指針」より

●経営基盤の強化

(1) 運営基盤の強化

- ア 補助金助成金の活用／多様な資金調達手段の開発
- イ 新たな顧客やリピーターの開発／友の会制度の見直し

(2) 組織の強化

- ア 外部団体や企業との連携の促進
- イ 他都市や他機関との連携の促進
- ウ 組織内での情報共有の徹底
- エ チャレンジする組織風土への変革

(3) 安心・安全の確保

- ア リスク予防やBCP策定等による安心安全体制の構築
- イ 運営施設の案内やサイン表示のわかりやすさの向上
- ウ 運営施設の老朽度合等の把握／こまめな修繕

(4) 情報発信の強化

- ア ホームページの見直し
- イ SNS等の活用

今後３ヵ年の方向性

- ・基本財産及び退職給付引当資産の運用先の拡大を視野に、規程の見直しを含めて検討を進めます。
- ・寄付取得の方法やその広報手法の調査・開発を行います。
- ・外部資金獲得のための情報収集・共有を、組織内で徹底します。
- ・「市民文化事業団友の会」制度の見直しを行い、文化鑑賞会としてのサービス・アップを図ります。
- ・ホームページの改善にむけ、調査・検討を継続し、システム改修を行います。
- ・施設の指定管理を維持していくため、総合的な経営基盤の強化を施設の運営業務においても生かしていくとともに、次期申請に向けた新しい取り組みを開発します。

2018年度の取り組み

- (１) 全国の文化振興財団の寄付取得実績や広報の状況の調査
- (２) 文化庁・地域創造等による補助金制度の調査強化・活用拡大
- (３) ホームページ改善のためのシステム改修計画の作成
- (４) 仙台市泉文化創造センターの次期指定管理申請（2019年度）の準備

2. 平成30年度事業一覧

事業名	実施時期	収支予算・入場予定者数他(単位:千円) ※施設名は略称
■1.定款第4条第1号、第2号、及び第3号の事業(市民の文化芸術及び郷土の歴史に関する活動等の支援及び育成、普及啓発及び情報発信、交流及び協働の促進)		
■1-1芸術文化振興事業		
1) 経常事業		
1.市民文化事業への支援事業		
支援・助成・協力事業	2回募集	[支出20,903/収入20,024(市補助金 20,024)] 支援約250件、助成約160件、協力約20件
名義後援	通年	[支出0/収入0]
2.公演事業		
仙台クラシックフェスティバル2018	9/28～30	[支出82,300/収入79,500(市負担金23,300、入場料45,124、協賛金他 11,076)] 会場: 青年文化センター他、入場者のべ38,000人
宝塚歌劇 雪組 全国ツアー仙台公演	4/7～8	[支出27,090/収入42,090(入場料41,240、広告料350、その他500)] 会場: 泉文化創造センター
弧の会日本舞踊公演&ワークショップ	3/2～3	[支出4,965/収入2,761(入場料1,561、助成金1,000、その他200) 会場: 青年文化センター
もりのみやこのふれあいコンサート	12/4	[支出3,764/収入3,764(市補助金 3,764) 会場: 泉文化創造センター、入場者1,100人
新春いずみ寄席	1/6	[支出3,193/収入2,888(入場料2,888)] 会場: 泉文化創造センター、入場者のべ790人
ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー「くるみ割り人形」公演&レッスン(共催事業)	2/2	[支出1,773/収入1,773(その他1,773)] 会場: 泉文化創造センター
共催事業	通年	[支出1,563/収入0] 会場: 青年文化センターほか
3.ホール運営活性化事業		
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(青年文化センター文化庁文化芸術振興費補助事業) ＜人材養成＞①ミュージカルプロジェクト(8月～3月)②ダンスプロジェクト(8月～3月) ＜普及啓発＞①青少年のためのオーケストラ鑑賞会(7月・10月) ＜公演＞①《名曲のちから》「オーケストラ・スタンダード 全3回」(12月～2月)②おとなとこどものためのクラシック入門「仙台フィルのクリスマスコンサート」(12/25)③熊谷和徳&the band Special Guest 山下洋輔 公演&ワークショップ(12月)④小池博史ブリッジプロジェクト公演「新・伝統舞踊劇 幻祭前夜2018～マハーバーラタより」&ワークショップ(ワークショップ:7/13～15、公演:9/16)⑤劇都仙台2018 こまつ座公演「父と暮せば」(7/14) ＜その他＞①事業評価(通年)	通年	[支出105,251/収入102,142(入場料等13,363、市負担金45,537、文化庁助成金39,992、その他助成金3,250)] 会場: 青年文化センター

青年文化センター活性化事業等 ①パフォーマンス広場活用プロジェクト(7月)②地域連携事業(通年)③諸室・フリースペース活用事業(通年)④市民参加・体験・活動型事業(通年)⑤インド舞踊公演⑥伝統文化・歴史遺産活用事業(2月)⑦こどもの夢ひろば“ボレロ”共催事業(7月)⑧共通経費・次年度調査事業(通年)⑨コピーサービス事業(通年)	通年	[支出4,550/収入550(参加料等289、コピー料収入261)]⑨は収益事業、会場:青年文化センター
泉文化創造センター 活性化事業 ①市民協働によるロビーイベント(年3回)②ホール見学会(1日2回公演)③ピアノ弾き込みボランティア運営(年3回程度)④市民ギャラリー・エントランスロビーでの展示(1回1週間程度、通年)⑤泉中央地区プレイガイド事業(通年)	通年	[支出923/収入10(販売手数料10)]⑤は収益事業、会場:泉文化創造センター
4.ミュージアム活性化事業		
猿舞座のさるまわし	6/10	[支出30/収入0]会場:榴岡公園、歴史民俗資料館、参加者800人
れきみん秋祭り	10/27、11/3	[支出3,243/収入1,459(助成金1,413、その他46)]会場:榴岡公園、歴史民俗資料館、参加者7,000人
体験教室「親子でつくろう古代米」	5月～11月	[支出480/収入155(古代米販売120、参加料35)]会場:富沢遺跡保存館他
ミュージアムフォトコンテスト 「氷河期の森・縄文の森の風景2018」	5月～3月	[支出340/収入0]会場:富沢遺跡保存館・縄文の森広場
ミュージアム・シアター「狩人登場」	5月～3月	[支出1,150/収入0]会場:富沢遺跡保存館他
森を育てる2018	6月～11月	[支出80/収入0]会場:富沢遺跡保存館
冬キラ☆今日の主役は氷河期の森	11月～3月	[支出340/収入0]会場:富沢遺跡保存館
施設広報開発事業「市民協同動画制作と公開」	7月～12月	[支出368/収入0]会場:富沢遺跡保存館
縄文祭復元事業「縄文まつり復元と創造プロジェクト」	通年	[支出2,180/収入400(助成金400)]会場:縄文の森広場
学校・地域連携促進事業「縄文まるかじり」	通年	[支出900/収入0]会場:縄文の森広場
野外展示「縄文の森」の多目的活用「森でみつける『じょうもん』」	通年	[支出200/収入0]会場:縄文の森広場、太白山自然観察の森、太白小学校
仙台文学館まつり	8月	[支出270/収入20(その他20)]会場:仙台文学館
ライブ文学館	冬期	[支出2,375/収入2,303(入場料1,536、助成金767)]会場:青年文化センター
ミュージアムシアター 展示室劇場	冬期	[支出330/収入0]会場:仙台文学館
smtホスピタリティ向上事業 ①親子のための居場所づくり支援事業②メディア活用による2階映像音響ライブラリー活性化事業	通年	[支出800/収入0]会場:メディアテーク
交流スペース喫茶事業	通年	[支出300/収入300(その他300)]会場:3.11メモリアル交流館

ミュージアムグッズ開発・販売事業 ①歴史民俗資料館グッズ②富沢遺跡保存館グッズ③縄文の森広場グッズ④仙台文学館グッズ⑤メディアテークグッズ⑥せんだい3.11メモリアル交流館グッズ	通年	[支出1,517／収入1,729(刊行物販売1,529、その他200)]会場:各ミュージアム他
5.劇都仙台2018事業		
市民能楽講座	7/7	[支出3,990／収入3,990(市負担金 2,350、入場料1,640)]会場:青年文化センター、入場者472人
舞台スタッフ☆ラボ	1月～2月	[支出1,373／収入1,373(市補助金808、受講料165、助成金他400)]、会場:演劇工房10-BOX他、対象者70人、観客100人
10-BOX鑑賞型プログラム ①戯曲賞大賞受賞作品リーディング公演 ②杜の都の演劇祭③県外の良質な劇団公演受け入れ④「SENDAI OROSHIMACHI Art Marche(せんだい卸町アートマルシェ)」	通年	[支出5,490／収入4,327(市補助金4,251、入場料76)]会場:演劇工房10-BOX他、対象者のべ500人
まなぶ・からだ-身体表現ワークショップ	通年	[支出900／収入900(市補助金800、受講料100)]会場:演劇工房10-BOX他、対象者30人、一般公開来場者のべ100人
せんだい短編戯曲賞	通年	[支出1,734／収入1,734(市補助金1,734)]会場:演劇工房10-BOX他
能-BOX 経常事業	通年	[支出731／収入731(市補助金656、受講料75)]会場:能-BOX、対象者70人
共通経費(事業間連携活動等事務費)	通年	[支出1,348／収入252(市補助金101、刊行物販売151)]会場:演劇工房10-BOX他
演劇ー社会アクセス事業	通年	[支出350／収入0]会場:演劇工房10-BOX他
音声学ワークショップ	通年	[支出0／収入0]会場:演劇工房10-BOX他、対象者70人
大衆紙芝居ネットワーク事業	通年	[支出0／収入0]会場:演劇工房10-BOX他、対象者10人
スタ☆ラボネットワーク	通年	[支出0／収入0]会場:演劇工房10-BOX他、対象者10人
6.創造都市推進事業		
地下鉄駅コンサート	9/22～23、 9/29～30	[支出1,183／収入1,183(市負担金1,183)]会場:地下鉄駅構内
7.2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「仙台市文化プログラム」事業		
仙台市文化プログラム事業 ①「仙台市文化プログラム」公募・共催事業 ②beyond2020プログラム認証事務	通年	[支出6,230／収入6,230(市負担金6,230)]
8.育成・普及事業		
東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト	11/3,4、12/8,9	[支出1,066／収入0]会場:青年文化センター、受講生70人、入場者1,050人
芸術家派遣事業	5月～2月	[支出0／収入0]会場:各学校・地域
文学館で言葉を楽しもう	通年	[支出305／収入0]会場:各学校・地域
9.出版事業		
出版物の販売継続事業 ①仙台文学館刊行物販売事業②『仙台戯曲賞シリーズ』販売事業③『文化芸術の社会再生力』販売事業④『RE:プロジェクト通信記録集』販売事業	通年	[支出174／収入167(刊行物販売167)]

10.広報事業等		
広報事業	通年	[支出5,120／収入4,897(市補助金4,897)]
市民文化事業団友の会運営	通年	[支出3,360／収入1,700(友の会会費1,700)]会員約1,700人
事業団事業全体にかかる共通事務費	通年	[支出3,584／収入0]
2)ミュージアム等周年記念事業		
1.仙台文学館開館20周年記念事業		
20周年事業こまつ座公演「イーハトーボの劇列車」	3/16	[支出8,310／収入2,999(入場料2,999)]会場: 青年文化センター
■1-2 コンクール運営事業		
1.仙台国際音楽コンクール事業		
事務局運営	通年	[支出13,815／収入13,815(市負担金13,815)]会場: 青年文化センター
委員会運営	通年	[支出2,227／収入2,227(市負担金2,227)会場: 仙台市内・東京都内
コンクール事業	通年	[支出10,726／収入10,726(市負担金7,436、その他 3,290)]会場: 青年文化センター
広報事業	通年	[支出19,300／収入19,300(市負担金19,300)会場: 青年文化センター
ボランティア事業 ①ボランティア新規募集に向けた活動説明会開催②会場運営サポート③広報宣伝サポート④出場者サポート⑤ホームステイ受入れ⑥ボランティア・プロジェクトチーム	通年	[支出2,482／収入2,482(市負担金2,482)]会場: 青年文化センター
第6回仙台国際音楽コンクール 優勝者副賞コンサート	通年	[支出7,188／収入7,188(市負担金5,986、出演料等1,202)]会場: 東京都他
仙台国際音楽コンクール関連事業	通年	[支出9,425／収入9,425(市負担金8,675、入場料750)]会場: 市内各所
■1-3 ジュニアオーケストラ運営事業		
仙台ジュニアオーケストラ運営	通年	[支出23,641／収入23,641(市負担金15,076、受講料・入場料等8,565)]会場: 青年文化センター他、団員定員122人
■1-4 演劇系練習施設運営事業		
せんだい演劇工房10-BOX運営	通年	[支出26,692／収入26,692(市補助金19,382、利用料等7,310)会場: 演劇工房10-BOX、能-BOX
■1-5 震災メモリアル交流施設管理運営事業		
せんだい3.11メモリアル交流館運営	通年	[支出54,146／54,146(市受託料54,096、受講料50)]会場: 3.11メモリアル交流館
■1-6 芸術文化受託事業		
市制施行129周年記念コンサート	7/2	[支出4,320／収入4,320(市受託料4,320)]会場: 泉文化創造センター
土井晩翠顕彰事業	通年	[支出1,089／収入1,089(市受託料1,000、刊行物販売 39、その他収入50)]
せんだいメディアテーク震災アーカイブ運営	通年	[支出14,950／収入14,950(市受託料14,950)]会場: メディアテーク
■■2. 定款第4条第2号の事業(文化芸術等に関する普及啓発及び情報発信)		
1. 仙台文学館普及啓発事業		

特別展・企画展の関連事業 ①特別展「田沼武能写真展 時代を刻んだ 貌」関連②「こども文学館 えほんのひろば」 関連③企画展「新収資料展」関連④特別 展「連載40周年記念 ガラスの仮面展」関 連	各展示の 開催時期	[支出683／収入683(市補助金375、販売手数料 308)]会場:仙台文学館
ことばの祭典ー短歌・俳句・川柳への誘い	6/17	[支出464／収入464(市補助金464)]会場:仙台文 学館
文学講座、講演会等の開催 ①小池光短歌講座②仙台文学館ゼミナ ール③仙台朗読祭、詩のリーディングイベ ントなど	通年	[支出2,709／収入2,709(市補助金79、受講料 2,630)]会場:仙台文学館
教育機関・関係者との連携事業	通年	[支出155／収入155(市補助金155)]会場:仙台文 学館
学芸員出前講座	通年	[支出0／収入0]
情報誌の発行	通年	[支出1,186／収入1,186(市補助金1,186)]
こどもの本の部屋の運営	通年	[支出0／収入0]会場:仙台文学館
文学館友の会の支援	通年	[支出0／収入0]
出版物等の販売	通年	[支出255／収入255(市補助金41、刊行物販売 214)]
■■■3. 定款第4条第5号の事業(文化芸術等に関する生涯学習の支援)		
1. せんだいメディアテーク 展覧会等総合事業		
せんだい・アート・ノード・プロジェクト	通年	[支出33,000／収入33,000(市補助金33,000)]会 場:メディアテーク
展覧会事業	通年	[支出13,700／収入13,700(市補助金7,000、入場 料1,000、助成金5,700)]会場:メディアテーク
スタジオ情報発信/地域文化アーカイブ	通年	[支出3,700／収入3,700(市補助金2,650、助成金 1,050)]会場:メディアテーク
発信・施設活用推進 ①バリアフリー・デザイン事業②館長発信 事業③地域文化連携・施設活用推進	通年	[支出4,723／収入4,723(市補助金4,323、刊行物 等販売400)]会場:メディアテーク
■■■4. 定款第4条第1号、第2号、第3号、第4号、第5号及び第6号の事業(市民の文化芸術及び郷土の歴史に 関する活動等の支援及び育成、普及啓発及び情報発信、交流及び協働の促進、資料の収集、保管及び調査研 究、生涯学習の支援、文化施設及び生涯学習施設の管理運営)		
■4-1 仙台市歴史民俗資料館 管理運営・調査研究・普及啓発事業		
仙台市歴史民俗資料館 管理運営	通年	[支出62,269／収入62,269(市指定管理料 62,269)]会場:歴史民俗資料館
仙台市歴史民俗資料館 常設展示	通年	[支出265／収入265(市指定管理料265)]会場:歴 史民俗資料館
1. 特別展・企画展及び関連事業		
企画展「灯りとくらし」	4/28～7/1	[支出255／収入255(市指定管理料255)]会場:歴 史民俗資料館
企画展「仙台古地図の旅2」	7/14 ～11/4	[支出1,500／収入1,500(市指定管理料1,500)]会 場:歴史民俗資料館
特別展「コメどころ仙台 ～コメの生産と消費 の歴史～」	11/17～4/14	[支出1,739／収入1,739(市指定管理料1,739)]会 場:歴史民俗資料館
講座・体験イベント等 ①資料館サポーター養成講座(7月～3月) ②子ども講座(7月、1月、3月)③ゴールデン ウィーク「おもしろ昔たいけん」(4/28～ 5/6までの7日間)④クイズラリー(夏休み・ 冬休み⑤たんけん資料館「れきみんバック ヤード・ツアー」(8月、10月、2月)⑥ホーム ムービーの日(10/20)	通年	[支出96／収入96(市指定管理料96)]会場:歴史 民俗資料館

資料館だより等の発行(その他の事業)	通年	[支出146/収入146(市指定管理料146)]会場:歴史民俗資料館
歴史民俗資料の収集・保管	通年	[支出1,381/収入1,381(市指定管理料1,381)]会場:歴史民俗資料館
調査報告書等の発行	通年	[支出1,072/収入1,072(市指定管理料1,072)]会場:歴史民俗資料館
学校教育との連携	通年	[支出0/収入0(市指定管理料0)]会場:歴史民俗資料館
■4-2 仙台市富沢遺跡保存館 管理運営・調査研究・普及啓発事業		
仙台市富沢遺跡保存館 管理運営	通年	[支出86,206/収入86,206(市指定管理料86,206)]会場:富沢遺跡保存館
仙台市富沢遺跡保存館 常設展示	通年	[支出13,450/収入13,450(市指定管理料13,450)]会場:富沢遺跡保存館
1.特別展・企画展		
企画展「古墳時代のはじまったころ」	4/20～6/17	[支出61/収入61(市指定管理料61)]会場:富沢遺跡保存館
特別企画展「米づくりはじめました」	7/20～9/24	[支出2,250/収入2,250(市指定管理料2,250)]会場:富沢遺跡保存館
企画展「仙台の土偶・岩偶」(仮)	10/19～12/16	[支出122/収入122(市指定管理料122)]会場:富沢遺跡保存館
企画展「もりの風景2018」(仮)	1/15～3/10	[支出28/収入28(市指定管理料28)]会場:富沢遺跡保存館
講座・体験イベント・ボランティア事業等 ①地底の森フェスタ2018(10/8)②考古学講座(11/23、1/26)③たのしい地底の森教室(通年)④利用学習事業(通年)⑤市民文化財研究員育成(通年)⑥ボランティア育成(通年)⑦地域や大学との連携	通年	[支出1,219/収入1,219(市指定管理料1,219)]会場:富沢遺跡保存館
研究報告の刊行	通年	[支出190/収入190(市指定管理料190)]会場:富沢遺跡保存館
ポスター・図録等の印刷・刊行	通年	[支出1,336/収入1,336(市指定管理料1,336)]会場:富沢遺跡保存館
資料の収集・保管	通年	[支出0/収入0]会場:富沢遺跡保存館
遺構の各種分析調査	通年	[支出348/収入348(市指定管理料348)]会場:富沢遺跡保存館
次年度事業準備・その他	通年	[支出308/収入308(市指定管理料308)]会場:富沢遺跡保存館
2.地域との連携事業		
運営懇談会	7月、2月	[支出0/収入0]会場:富沢遺跡保存館
■4-3 仙台市縄文の森広場管理運営・調査研究・普及啓発事業		
仙台市縄文の森広場 管理運営	通年	[支出41,726/収入41,726(市指定管理料41,726)]会場:縄文の森広場
仙台市縄文の森広場 常設展示	通年	[支出16,212/収入16,212(市指定管理料16,212)]会場:縄文の森広場
コーナー展示「仙山交流」 ①「仙山交流in仙台」(3/16～6/10)②「仙山交流in山形」(7/13～10/21)③「仙山交流in東松島」(仮)(12/1～2/3)④「仙山交流in仙台」(3/15～6/9)	通年	[支出34/収入34(市指定管理料34)]会場:縄文の森広場
縄文まつり	5/13、7/16、10/6、2/3	[支出994/収入994(市指定管理料994)]会場:縄文の森広場
普及啓発事業 ①団体予約②随時体験③体験講座④特別イベント	通年	[支出2,026/収入2,026(市指定管理料2,026)]会場:縄文の森広場

縄文講座 ①「縄文最新研究 最前線①」(12/9) ②「縄文最新研究 最前線②」(1/20) ③「縄文最新研究 最前線③」(2/17)	12月～2月	[支出175／収入175(市指定管理料175)]会場:縄文の森広場
ボランティア育成事業	通年	[支出284／収入284(市指定管理料284)]会場:縄文の森広場
1.学校との連携事業		
学校教育との連携	8月、 10月～12月	[支出7／収入7(市指定管理料7)]会場:縄文の森広場
利用学習事業	通年	[支出2,555／収入2,555(市指定管理料2,555)]会場:縄文の森広場
2.地域との連携事業		
運営懇談会	通年	[支出2／収入2(市指定管理料2)]会場:縄文の森広場
縄文の森広場 縄文畑の活用	通年	[支出0／収入0]会場:縄文の森広場
3.調査研究事業		
体験活動メニューの調査研究	通年	[支出159／収入159(市指定管理料159)]会場:縄文の森広場
復元住居の経年変化及び維持管理に関する研究調査	通年	[支出0／収入0]会場:縄文の森広場
ボランティアスタッフとの共同調査研究	通年	[支出0／収入0]会場:縄文の森広場
次年度コーナー展資料調査	通年	[支出52／収入52(市指定管理料52)]会場:縄文の森広場
資料の収集・保管事業	通年	[支出0／収入0]会場:縄文の森広場
■4-4 仙台文学館管理運営・調査研究・普及啓発事業		
仙台文学館 管理運営	通年	[支出189,999／収入189,999(市指定管理料189,999)]会場:仙台文学館
仙台文学館 常設展示	通年	[支出0／収入0]会場:仙台文学館
1.特別展・企画展		
特別展「田沼武能写真展 時代を刻んだ貌」	4/21～6/24	[支出2,098／収入2,098(市指定管理料2,098)]会場:仙台文学館
夏休み企画「こども文学館えほんのひろば たかどのほうこの世界」	7/14～8/26	[支出1,375／収入1,375(市指定管理料1,375)]会場:仙台文学館
企画展「新収資料展」	9/1～9/24	[支出553／収入553(市指定管理料553)]会場:仙台文学館
特別展「連載40周年記念 ガラスの仮面展」	10/6～11/25	[支出7,047／収入7,047(市指定管理料7,047)]会場:仙台文学館
新春ロビー展「100万人の年賀状展」	1/10～2/11	[支出233／収入233(市指定管理料233)]会場:仙台文学館
資料の収集・保管	通年	[支出3,375／収入3,375(市指定管理料3,375)]会場:仙台文学館
次年度事業準備・その他	通年	[支出2,620／収入2,620(市指定管理料2,620)]会場:仙台文学館
■■5.定款第4条第6号の事業(文化施設及び生涯学習施設の管理運営)		
■5-1 仙台市青年文化センター管理運営事業		
仙台市青年文化センター管理運営	通年	[支出351,929／収入351,929(市指定管理料351,929)]会場:青年文化センター
■5-2 仙台市泉文化創造センター管理運営事業		
仙台市泉文化創造センター管理運営	通年	[支出131,404／収入131,404(市指定管理料131,404)]会場:泉文化創造センター

■5-3 せんだいメディアテーク管理運営事業		
せんだいメディアテーク 管理運営	通年	[支出615,701／収入615,701(市指定管理料615,701)]会場:メディアテーク
せんだいメディアテーク ライブラリー運営・美術映像文化推進事業	通年	[支出9,163／収入9,163(市指定管理料9,163)]会場:メディアテーク